

施設名	日野市立希望の家
指定管理者名	社会福祉法人 日野市福祉事業団
指定期間	平成24年4月1日 から 平成26年3月31日

A評価		①	②	③	④
審査項目	評価事項	評価点			
公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されたか	①市民の平等な利用が確保されている				
	②誰でも利用できる配慮はなされている				
	③利用者の意見を反映する仕組みがある				
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されている				
	⑤事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられる				
	評価点×3倍	9	9	9	12
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できている				
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切である				
	③日常的な安全管理が十分に考えられている				
	④専門的な知識・技能・設備等は確保されている				
	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされている				
	評価点×2倍	6	6	8	8
その他	①個人情報保護のための体制が整っている				
	②環境への配慮がなされている				
		3	3	3	3
	A評価計	18	18	20	23

B評価		①	②	③	④
審査項目	評価事項	評価点			
サービスの質を向上させるための方策を講じたか。	①児童福祉法等の法令を遵守した運営を行い、また利用者の支援を適切に行える人員配置ができていたか。				
	②職員会議やケース会議等を定期的に行き、また各関係機関と連携を密にすることにより、利用者に対して適切な支援を行える体制がとられていたか。				
	③障害児及び障害児に準ずる児童が安心して過ごせる環境の下で、適切な支援を行っていたか。				
	④保護者との連絡及び連携は緊密に取れていたか。				
	⑤幼い子どもを持つ保護者が気軽に相談に行くことのできる環境であり、また適切な相談が行っていたか。	4	8	8	8
事故対応を徹底したか。	①利用者が障害児及び障害児に準ずる児童であることを考慮した上で、送迎中や療育中の事故の未然防止策が講じられているか。				
	②事故が発生した際、適切な対応しており、再発防止の策も講じていたか。				
		3	4	4	3
利用者が安全・安心して施設を利用することができていたか。	①定期的な清掃等で、利用者の衛生面を考慮したサービスを提供できていたか。				
	②障害児及び障害児に準ずる児童が利用する施設として、災害対策や警備体制はしっかりとられていたか。				
		3	3	3	3
事業に要する費用を削減できているか。	①事務の効率化や無駄の削減等により、経費を節減することができていたか。				
	②事務の効率化や無駄の削減等により、経費を節減することができていたか。				
		2	4	4	4
熱意・意欲・積極性を持って事業を実施していたか。	①各関係機関との連絡を密にする等により、これまで希望の家につながらなかった利用者等を積極的に受け入れられる体制が整えられていたか。				
	②既存事業の定期的な見直しや新規事業の立ち上げ等、事業展開を積極的に行っていたか。				
	③周辺住民・地域に受け入れられていくような事業を実施していたか。				
		4	4	3	4
	B評価計	16	23	22	22

評価基準

- 高い……5 優れている
- やや高い・4 概ね満たされ一部に優れたところがある
- 普………3 概ねできている
- やや低い・2 一部に課題がある
- 低い………1 課題も多く改善が必要である